

平成28年度第2回函館市戸井地域審議会会議録	
開催日時	平成28年10月28日(金) 午後 2時00分～午後 2時45分
開催場所	函館市戸井支所 第3会議室
議 題	1 平成29年度地域別事業一覧について 2 地域振興全般に関する意見交換について 3 その他
添付資料	資料1 平成29年度地域別事業計画書(案)
出席委員	◎松田 正志 委員 ○松永 清男 委員 吉田 省吾 委員 加藤千州雄 委員 室谷 久恵 委員 杉野 陽一 委員 河江 誠司 委員 立石 祐子 委員 島本 浩伸 委員  (◎会長 ○副会長) (計 9名)
欠席委員	宇美 兼松 委員 南坪 忍 委員 植野 範子 委員 吉田美保子 委員 野村 哲一 委員 南坪佳代子 委員
事務局出席者の職氏名	函館市戸井支所 支所長 川手 直樹 地域振興課課長 野呂 健尚 産業建設課長 和田大丈夫 地域振興課主査 泊澤 宏一 市民福祉課長 松澤ゆかり 地域振興課主任主事 館山佳代子 教育事務所長 仲村 公志 函館市企画部計画推進室計画調整課課長 三原 克幸 計画調整課主任主事 橋本 啓彦
その他	傍聴者 なし 報道官権者 北海道新聞社・函館新聞社

**事務局（野呂課長）** 本日は、ご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から、平成28年度第2回函館市戸井地域審議会を開催いたします。

本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の定めにより、公開としております。

また、傍聴人数におきましては、会場の都合もあり、20名としておりますので、この点もご了承ください。

それでは、会議開催にあたり、松田会長からご挨拶を申し上げます。

**松田会長** 皆さん、こんにちは。

平成28年度第2回函館市戸井地域審議会開会にあたりまして、一言挨拶を申し上げます。

本日は、委員の皆様には何かとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

本日の議題は、皆さんご案内のとおり平成29年度の地域別事業計画（案）、そして地域振興全般に関する意見交換となっております。

皆様方の協力により、会議を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

また、本日は企画部から三原課長さん始め、支所の各課長さんにもご出席をいただいております。説明の際には、どうぞよろしくお願いいたします。

以上、開会にあたってのご挨拶といたします。

よろしくお願いいたします。

**事務局（野呂課長）** ありがとうございます。

続きまして、川手支所長からご挨拶を申し上げます。

**川手支所長** 皆様、こんにちは。

今年度、第2回目の戸井地域審議会の開催ということで、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より地域振興始め、市政各般の運営にあたりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げる次第です。

今月16日には戸井地区の文化祭、23日には道南駅伝競走大会が開催され、多くの方にお越しいただき無事に終了することができました。ご協力をいただきました関係者の皆様に対しましては、この場をお借りしお礼申し上げます。

例年ですと、この2つをもちまして戸井地域の大きな事業を終了するわけですが、今年は11月にも2つ大きな事業が予定されておまして、1つは11月8日の函館市防災総合訓練「住民参加型訓練」ということで予定されてございますし、また、11月25日に「みんなが元気で安心して暮らせる地域づくりを考える集い」この2つの事業が、戸井西部総合センターにおいて開催の予定となっております。

函館市防災総合訓練の「住民参加型訓練」でございますが、4支所管内で初めて開催される訓練で、今回は「住民参加型」ということで避難していただいた後の実際の避難所の動きを想定しまして、例えば、ボランティアの方の受付、避難所における行方不明の方の搜索、あるいは日赤の炊き出しの手伝い等、具体の避難所の運営の役割を担っていただく訓練でございます。

警察や、日赤奉仕団等の関係機関のご協力をいただきながら、また、地域の強い働き掛けを受けて、緊急物資の海上輸送ということで海上保安部の巡視艇「すずらん」で運ぶということになっております。

また、もう一つの「みんなが元気で安心してらせる地域づくりを考える集い」でございますが、私が、こちらに来てからぜひ実施したいと日頃から考えていたものが、今回実現する運びとなりました。

これまで、福祉サービスの紹介等でとどまっていた催し物が多かったのですが、今回は、実際に高齢者の見守りに係わるいろいろな団体の意見を聞きながら、これから高齢者を支える仕組みづくりを探ろうという、ひとつの機会づくりとして開催するものでございます。

なお、皆さまにいろいろとご協力を頂くことがあろうかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、皆さま地域審議会委員としての任期でございますが、11月までとなっておりますが、本日が最後の会議となっております。会長はじめ委員の皆さまにおかれましては、合併建設計画の諮問に係る答申、あるいは、地域振興に係る数々のご意見をいただきましたことに対しまして、改めてご礼を申し上げます。

今後におきましても、引き続き地域の振興発展のために私共の良き相談相手ということでご助言、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

**事務局（野呂課長）** ありがとうございます。

続きまして、出席しております企画部の職員をご紹介します。

企画部計画推進室計画調整課 三原課長でございます。

**三原課長** 三原でございます。よろしくお願いいたします。

**事務局（野呂課長）** 同じく橋本主任主事でございます。

**橋本主任主事** 橋本です。よろしくお願いいたします。

**事務局（野呂課長）** それでは、本日の出席の委員の報告をいたします。

所用によりまして、宇美委員、南坪 忍委員、植野委員、南坪佳代子委員、吉田美保子委員、野村委員が欠席しておりますので、本日の出席委員は9名でございます

会議の進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の定めにより、会長が議長を務めることとなっておりますので、以後、松田会長に議長をお願いいたします。

**松田会長** 地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。

お手元の会議次第に沿い進めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

**松田会長** それでは、議題の(1)、平成29年度地域別事業計画(案)について、事務局から説明をお願いします。

**事務局(泊澤主査)** それでは、資料1平成29年度地域別事業計画(案)をご覧くださいと存じます。

この資料につきましては、合併建設計画などを基に示したものであり、予算要求の有無の不確定な状態のものでございます。

委員、皆さまのご意見等を拝聴したうえで、必要性、緊急度、費用対効果なども十分考慮し、担当部局とも協議しながら予算要求を進めてまいりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

この資料は、全地域を対象とするものと、戸井地域に係る事業を掲載しておりますが、戸井地域のみについて説明したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、1ページ目をお開き願います。

1番目の「多様で力強い産業を振興するまちづくり」(2)「水産業の振興」に係わるもので、「漁港の整備」としまして、水産物供給基盤機能保全事業と漁港整備事業を予定しております。

次に、「漁場の造成」としまして、「水産環境整備事業」としまして、コンブ礁設置と「水産多面的機能発揮対策事業」としまして、藻場保全を予定しております。

次に、「ウニ・アワビ種苗等放流」としまして、ウニ深浅移殖放流事業、ウニ種苗生産供給事業、アワビ種苗放流事業を予定しております。

次に、「その他関連事業の推進」としまして、漁業用流通施設整備事業を予定しております。

次に、(3)「農林業の振興」に関するもので、市有林の整備を予定しております。

次に、3ページ目をお開き願います。

2「安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」(3)「交通・情報ネットワークの形成」の「生活道路の整備」としまして、市道小安・釜谷線の改良舗装を予定しております。

また、「その他関連事業の推進」としまして、福祉バスとスクールバスの運行を予定しております。

次に、4ページ目をお開き願います。

(5)「生活環境の整備充実」に関わるものとしまして、特定環境保全公共下水道整備事業を予定しております。

次に、5ページ目をお開き願います。

(3)「高齢者福祉の推進」の「その他関連事業の推進」としまして、高齢者等送迎サービス事業を予定しております。

次に、6ページ目をお開き願います。

4「いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」(1)「生涯学習の推進」の「その他関連事業の推進」としまして、道南駅伝競走大会の負担金を予定しております。

また、「5連携と交流によるまちづくり」に関するものとしまして、青森県大間町との地域間交流事業を予定しております。

以上で、現時点での平成29年度の地域別事業計画の説明を終わります。

**松田会長** ただ今、事務局から説明がありました。

ご意見ございませんか。なお、発言される方は起立して発言されるようお願いいたします。

**吉田(省)委員** 今提示された資料に予算額が掲載されていないが、今後、事業が増えるだとか、何月頃にわかるのか。

**事務局(泊澤)** この資料は、現時点での計画に登載されている事業でございます。

先程説明したとおり、緊急性などを勘案しながら予算要求をしていくということになりますので、年明け3月の地域審議会には具体的な事業および金額をお示しできると思いますので、ご理解をお願いいたします。

**松田会長** その他ございませんか。ありませんか。

(はいの声あり)

**松田会長** それでは、他にないようでございますので、(2)地域振興全般に関する意見交換について、皆さん地域振興に関しての町づくり等について、ご意見あるいは要望、提言がありましたら発言をお願いします。

**河江委員** 提言という形でご意見させていただきますが、先程、支所長から住民参加型訓練があるという話がありました。

函館市では、防災に関して自主防災組織を各町会に設置してくれという要請がある。

今年度は、函館市町会連合会で5町会が結成し1町会当たり防災資機材の貸与として40万円が市から交付されるが、函館市の町会連合会の加入が180切りましたが、この中で自主防災組織を結成している町会が86町会ありますが、なかなか進まないと言うことで、市では毎年自主防災組織を作ってくれと言う要請がある。

戸井地区を見た時に何処の町会も過疎で、各町会にある地域会館もいずれは廃止する

という時期に来ている。

実際に自主防災組織を結成している町会の話を見ると、40万円でいろいろな防災資機材を用意しているが、この防災資機材の保管に苦慮しており、高台に集会所がある所はいいが、海拔の低い所であれば高台にプレハブを買って建て保管している町会もあります。

買うときは良いんですが、何年も使わなかったり、人が変わったりするといざという時に使いこなせないという問題もおきている。

したがって戸井地区では、日新中学校、戸井西部総合センター、潮光中学校等避難所を指定している施設にそれなりの防災資機材があるということで、防災資機材の拠点化ということをご提案したいと思います。

戸井地域では、自主防災組織が現在ないということですが、市の方では盛んに自主防災組織を作れという。組織を作らないと防災意識が薄いと思われるが、現実に組織を結成するのは無理である。

戸井地区として、東地区と西地区の2ヶ所に防災資機材拠点化として最低限の機材の整備を今後ぜひお願いしたい。

**松田会長** 私ども汐首町会では、一時期自主防災組織を結成しようと人数もいて、いざ申請しようと思ったら、災害が発生した場合、例えば津波が来る時などは、動力船があるため、皆が沖に避難するというので、自主防災組織を結成して、道具を備えても使う人がいないという状況になる。地域においても今では老・老で避難しなくてはならないという状況にあり、今、河江委員の発言したことを今後、拠点化といったことを考えながら進めていければと考えておりますので、よろしく申し上げます。

**野呂課長** 今、河江委員の方から防災資機材の関係でお話がありましたが、現在、戸井地域の中で緊急避難場所が11有りまして、この内指定避難所として4カ所設置されているところですが、指定避難所には、発電機とか災害に必要な物はひととおり揃っている状況にありまして、それと別に町会の方で、年間40万円の予算がついて防災グッズを買えるということですが、それはそれで町会の方で準備していただくことは大事なことだと思っております。

旧市内の町会と違いまして、この戸井地域の町会につきましては、全ての町会の方々が防災意識を持っていて、防災組織を作るといったことは必要だと思っておりますが、町会の防災意識がある程度浸透していると認識しております。

このごろ、避難所の開設や大雨警報など多くなっておりますので、全町会のご協力を得ながら、防災意識の高揚ですとか防災関係の整備を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**松田会長** その他ございませんか。

**吉田（省）** 地域振興に関わることや、地域の将来がどうあるべきかといった、目に見

えない、形に現れないものを予算化して、組織化して検討するという事で、本庁の企画部において行っていると思いますが、見える化になっていないと思います

地域に出向きヒアリングをすとか、一緒に考えて行くとか目に見える形で地域の将来のあり方等を考える場を作って、目に見える長期計画ができないのか。

**三原課長** 市では今、基本構想と言いまして、函館市全体の計画と言いますか構想を丁度策定する作業となっています。

その中には、具体的に4地域をどうしていくかといった細かい所まで書いてはいませんが、そういう計画が必要かも知れませんが、こういう地域審議会、これも平成32年度での期限となっているが、地域審議会的な方法がこのまま続けていくという方法もありますし、また、別の組織体と申しますか住民の声を拾って、この戸井地域をどうしていくのかというような場面を、それまでに考えていく必要があるのかなど、その中で計画というものが必要であれば、皆さんのいろいろな意見を聞きながら戸井という地域をどのようにしていくのかということを考えて行けばいいのかなど、私は今思っております。以上です。

**川手支所長** 今、企画部の方からも一定程度のお話がありました。

吉田委員がおっしゃる、目に見える計画、目に見えない計画、この地域が将来的に実際にどのようなようになって行くか、そのためにどういった政策をしていけば良いのかと非常に難しいということで、日々私どもも難しさを実感しながら仕事をしているわけでございます。総合計画は、将来の市のあるべき姿に向かって「どのような政策展開をしながら、そこに至るか」ということを示しているものですが、この地域をどのように活性化していくかということについては、総合計画によらず、日々の事業展開の積み重ね、少しずつでもという思いで取り組んでいるわけでございます。戸井地域に限ってお話いたしますと、どんどんと高齢化が進んでいく、進んでいくからどういったことを考えなければならないかということ、例えば、福祉サービスの提携の仕方といったことも、地域内の実態がどうあるかを探りながら10年先を見通した時、大変な事になる。そうしたときに、今からできることは何かと、将来の姿をイメージしながら今から打てる手を考える。ただ、それを次から次へと姿に表せないというジレンマを感じながらやっているというのが実態ですので、こういった部分もご理解していただければと思っておりますし、なかなか目に見えない部分はあると認識をしているところでございます。以上です。

**松田会長** 他に何かございますか。

島本委員、漁業のことで何かございませんか。

**島本委員** 去年から、今年にかけて天然コンブが全然見えなくなっている。

磯焼けの現象が始まっているのではないかと心配している。調査を実施し結果が出ていない状況であるが、砂の移動によってコンブの根が腐って抜けるという話もある。現に原木地区では養殖コンブの係留柵作業を行う時に、ブロックを探したときに砂に埋も

れて見えない状態であった。漁港も最近は砂が多くなっている状況で、漁港の浚渫をする量が年々少なくなってきた。小安漁港の下手に防砂堤を作ったが漁港と防砂堤の間の溜まった砂を土現が砂を取るという説明があったが、いつになったらやってもらえるのか。

**和田課長** 大きく分けて、コンブのお話と、漁港の砂の浚渫の2件ということでお話をさせていただきます。

コンブについては、島本委員ご存じのとおり戸井漁協の小安支所やいろいろな関係機関と連携を図りながら原因調査を行っておりますが、地表でない海の中なのでなかなか原因を解明できてないということですが、いろいろな角度から、いろいろな方面と協力しながら、何か対応ができるのかということを検討してまいりたいと考えております。

砂の問題ですけれども、戸井管内で言いますと釜谷漁港、小安漁港のこの2港については、毎年北海道におきまして浚渫をやってもらっているところです。現に、船底がつかえるということ認識して北海道をお願いしているところですが、北海道の漁港は沢山ありまして、他にも砂の溜まる所が沢山あります。補助事業で行っている事業でございますけれども、補助事業の枠が少なくなっている状況もありまして、十分に砂を取れているというような状況にはなっていないということもありまして、両漁港については、随時北海道に対してお願いしているところでありますので、ご理解を賜りたいと思います。

小安漁港の防砂堤の砂の関係ですけれども、これについては、小安漁港に砂が溜まるということで、これを設置したらいくらかでも抑えられるのではないかとということで、北海道が試験を繰り返しながら設置したという経緯がございます。溜まった砂については、北海道に対して、除去してもらおうよう市として要望しているところですが、先程申し上げたとおり漁港予算については厳しいということもありまして防砂堤内の砂の除去については行われておりませんが、北海道と話をしている中では、試験的にも何処を除去すれば有効に出来るのかというような事を考えながらやっていきたいという話をいただいておりますので、引き続き北海道と協力しながら地域にご迷惑をかけないようにやっていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。以上です。

(解りましたの声あり)

**松田会長** その他ございませんか。

無いようなので、次に移らせてもよろしいですか。

(はいの声あり)

**松田会長** その他でございますけれども、なにかございませんでしょうか。

**加藤委員** 教育委員会所管の戸井西部総合センターの使用料について、地域の団体やサ



一クルが施設を借りるときは免除して借りることができる。地域の住民が個人的に施設を借りるといのは、ほとんどが葬儀での使用だと思いますが、葬儀で2日間借りて使用料を計算すると7, 8万円位になる。普通の地域会館だと1万7, 8千円位で借りられるが、戸井西部総合センターも借りることができないのか。

**仲村所長** 使用形態によって使用料を変えるということにはならないものですから、使用時間だとかというもので使用料は設定されておりますので、葬儀だから幾らにするとか減免にするとかそういうことは、なかなかならないのかなと思っております。

**加藤委員** 恵山地区の日ノ浜のコミュニティセンターがあるが、ここも葬儀で使用されているが、戸井西部総合センターと同じような作りになっている。

恵山地区は、葬儀に関して3日間で3万円というのが基本と聞いている。

施設の管理運営は町会連合会が行っていると聞いているが、町会連合会が管理するのと、教育委員会が管理するのでは、こんなに使用料に差があるのかなと感じている。

こんな時代ですから、使用料を安くしたから地元で葬儀する人が増えるかという、そういう話にはならないと思いますが、もう少し気軽に借りれるような金額にしていたらと思っております。

**松田会長** 次、何かありますか。

**杉野委員** 今、戸井地域の障害者協会の会員は27名おり、家族が面倒を見ている状況にあります。

災害時、避難する等家族だけでは面倒を見ることは難しいと思いますので、近所の方々、障がい者の方々を支える制度を作っていただきたい。

**松田会長** 杉野委員から、避難行動要支援者についてありました。

地域振興課長から、説明をお願いします。

**野呂課長** 災害の際に避難できない、高齢者の方、障がい者の方の為に避難行動要支援者の名簿を作成しておりまして、こちらの方に登録していただくことによりまして、今言われました近所の方の手助けを受けて避難所まで行けるということが制度化されました。こちらの方に登録していただくことで各町会において、支援を受けることができますが、絶対支援が受けられるとうことではないですが、制度としては、近所の方が手助けしてくれて、避難所まで一緒に避難してくれるということになっておりますので、ぜひ、こちらの方に登録していただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

**松田会長** 昨年、今の名簿を町会が保管して町会が、どなたか一緒に支援しながら避難するという取組は行っておりますので、それぞれの町会で温度差はあると思います

が、取組みを行っております。

**杉野委員** できれば、今言われた名簿を纏めていただき、役員会などで説明をしたいと思えます。

**松田会長** この制度は、障がい者や高齢者に対して町会に名簿を渡すので、個人情報に対して同意していただいた中で、名簿が各町会に来て支援を誰がという仕組みとなっておりますので、個人情報の関係がありますので、障がい者の会長だから地域の対象者の名簿を見せるということにはならないと思えます。

**河江委員** 町会長という立場で、現実にその取扱いをしている一人として、今、杉野さんが言われたとおり素直に申し込みをしていただく方もいますが、中にはそうでない方もおります。今、課長から説明がありましたが市の方では制度化した名簿が町会に交付されたときに、名簿の扱いについても厳しい規制があります。

戸井地区に10町会ありますが、市の方で指導しているこの制度が、この10町会でどれだけ今説明があった形で行っているかというのは現実には疑問があります。

それならどうするかといいますと、各町会のやり方に任せるとなっていて、今、会長からもあったとおり個人情報という問題がありますので、他人が作った名簿を利用することは、プライバシー等があり相当神経を使うということで、各町会では、世帯を訪問し、確認し自ら名簿を作成するというところを行っている。

おそらく、市の制度で行っているのは3割くらいあるかどうかというのが疑問なんです、これが現実なんです。

今、杉野さんが言われたとおり、町会長に一言「お願いしたい」という声で伝わっていきますので、私も町会の会議の中でお話しして、見守り隊を作っていこうとやっていきたいと思っています。参考までですけど。

**松田会長** その他ございませんか。

無ければ、その他事務局何かありますか。

**事務局（泊澤主査）** 私の方から、1点ほどあります。

皆さまに、前回平成28年度第1回の会議録を配布してございますので、後程ご覧いただきたいと思えます。以上です。

**松田会長** 以上で本日の日程は、全て終了しました。

先程、支所長の挨拶にもありましたとおり、今回の会議で委員の皆さまは任期中最後の会議でございます。

皆さまのご推挙により、会長という職につかせていただきましたが、2年の任期満了を迎えることができました。

任期中には、先程支所長からありましたとおり、合併建設計画の答申や、地域審議会

の設定期間の延長等重要案件の他，皆さまの声，町づくりの要望・意見等もそれなりに市長に述べることができたものと思っております。

皆さまのご支援，ご協力により無事任期を務めることができましたことを改めて皆さんに感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

以上をもちまして，本日の会議を終了いたします。